

坂野中学生がロボコン全国大会に出場



第15回創造アイデアロボットコンテスト中国・四国地区大会の授業内部門で見事優勝した坂野中学校3年生の澤田航平さん(写真:手前左)と島田史也さん(写真:手前右)が1月15日、全国大会出場(1月24日~25日に東京都で開催)の報告に市役所を訪れ、濱田市長から激励を受けていました。



埴淵富江さん満百歳を祝う

赤石町の埴淵富江さんが12月25日、満百歳の誕生日を迎えられ、濱田市長らが埴淵さんの生活されている施設を訪問し、祝い状や記念品を贈りました。埴淵さんは大正3年生まれ。手先が器用で今でも裁縫を趣味として楽しんでいるほか、歩行器での散歩を毎日欠かさないそうです。



この日、埴淵さんは家族や施設の職員らに囲まれ、祝福されると「ありがとうございますと元氣よくお礼を述べられていました。

第61回徳島駅伝 小松島市4位入賞



新春の阿波路で健脚を競う「第61回徳島駅伝」が1月4日から6日までの3日間の日程で開催され、徳島県内全域を巡る44区間のコースを16都市のチームが駆け抜けました。

西川誉監督率いる小松島市チームは、中原友雅主将をはじめ選手一丸となってタスキをつなぎ、初日から最終日までメダル争いを繰り広げた結果、総合成績で昨年より1つ順位を上げ、見事4位入賞を果たしました。

また個人としては、大会最長区(14.4km)を区間賞で制した大西亮さんが最優秀競技者(MVP)に選出されたほか、小松島中学校3年生の井内優輔さんが優秀競技者に選ばれる力走で沿道を沸かせました。

大動脈弁狭窄症の新しい治療法「TAVI」  
徳島赤十字病院 四国で初めて実施

徳島赤十字病院で12月10日、四国で初めて経カテーテル大動脈弁治療(TAVI)が実施されました。

TAVIは、心臓の弁が開きにくくなる大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法として、国内で一昨年10月より導入されたばかりです。その治療方法は、開胸したり心臓を止めたりすることなく、カテーテルを用いて患者さんの心臓に人工弁を取り付けることができるため、手術リスクが高い、または、これまで手術をあきらめていた高齢で体力の低下している方などに対する治療として注目されています。

徳島赤十字病院では、より高度な設備と技術が求められるTAVIの実施に向けて、血管撮影装置を

備えたハイブリッド手術室(写真)を昨年5月に完成させるとともに、循環器内科医や心臓血管外科医、麻酔科医、看護師などで「ハートチーム」を結成し、専門分野のノウハウを結集して治療にあたる体制を整えてきました。

同病院の日浅芳一院長はTAVIの実施について「これまで治療をあきらめていた方に治療への大きな道が開けることで、より多くの方々に役立つことが期待できる。今後も、世界最高水準の医療を提供していきたい」と語っていました。

